



# IPF Japan 2023 企画展示コーナー

国際プラスチックフェア協議会 事務局  
佐藤 敦

## IPF Japan 2023 国際プラスチックフェア



IPF Japan 2023 国際プラスチックフェアは、3年に1度開催される国内最大のプラスチックとゴムの専門展示会。

本年が開催年にあたり、11月28日(火)から5日間、幕張メッセにて開催予定。

- 名称: IPF Japan 2023 (国際プラスチックフェア)
- 会期: 2023年11月28日(火)～12月2日(土) 5日間
- 開場時間: 10:00-17:00 (最終日16:00)
- 会場: 幕張メッセ 1～8ホール
- 主催: 国際プラスチックフェア協議会 (IPF協議会)
- 開催規模: 出展者 778社/団体 (前回実績)
- 開催規模: 出展小間数 2,438小間 (前回実績)
- 来場者数: 43,676人 (前回実績)
- 入場料金: 公式サイトからの事前登録者は無料
- 開催周期: 3年に一度 (2020年はコロナ禍で中止)

今回は前回規模を超える勢いでお申し込み受領。

近年でも最大規模で開催予定。



## IT/IoT企画展示コーナー

幕張メッセの展示ホール内に「IT/IoT企画展示コーナー」を設置。

IAF殿にご協力いただき、情報活用に関する展示を行う。

### コーナーの目的

- ▶ 来場のボリューム層である中小プラスチック成形事業者の情報活用のメリットを訴求し、情報化を促進する。
- ▶ 特に「カーボンニュートラル対応」や「生産性向上」など、中小プラスチック成形事業者が抱える課題の解決に寄与する情報活用の技術／方法を紹介する。
- ▶ 情報活用のためのハードルが下がっていることを示す。
- ▶ 出展者のための来場者動員。



## 中小プラスチック成形事業者が抱える悩みは尽きない・・・

- ✓ 発注先からの要求は日々厳しくなり、求められるスピードも上がるばかり
- ✓ エネルギーコストや材料費の高騰、人的資源の不足
- ✓ さらにカーボンニュートラル対応まで



事業継続の危機に瀕している

中小プラスチック成形事業者も多い

悩み解決のために情報技術を活用してみたいが...

情報活用サービスの導入／運用は費用や人的コストの負担が大きく、有用だと理解していても中々導入に踏み切れていない。



中小プラスチック成形事業者の情報活用への意欲を増進させ、情報化への第一歩目を踏み出す一助となる展示を目指す。

## 展示コーナーブース概要



幕張メッセの展示ホール内に12小間(6m×18m、108㎡)の企画展示コーナーを設置予定。

### ◆ 情報活用に関する俯瞰的な内容のパネル展示

- 情報活用のメリットや技術、方法などの紹介
- 情報活用のための業界動向や規格(EUROMAP/OPC-UA)の紹介
- IAF活動(ia-cloudプロジェクト、モデリングWG、CLiCプロジェクト、SMKLプロジェクト)の紹介

### ◆ プラスチック業界における情報活用事例のパネル展示 (IAF 特別プロジェクト)

- プラスチック中小成形工場でのPoC結果紹介
- PoCで使った「IT/IoTシステム」の構成と要素紹介

### ◆ 他製造業における情報活用事例のパネル展示

- 先行事例紹介



【コーナーイメージ】IPF Japan 2020(中止)の「スマートファクトリーコーナー」俯瞰図

## IAF 特別プロジェクト

実際に稼働しているプラスチック成形工場の協力のもと情報を収集し、これを活用する実証実験が行われ、その成果を企画展示コーナーに展示いただく。

- ✓ 工場全体の情報収集／活用PoC
  - ✓ 成形工程に特化したワークセル単位の情報収集／活用PoC
  - ✓ 成形用機械装置に特化した機械装置単位の情報収集／活用PoC
- カーボンニュートラル対応
- 省電力化
- 生産性向上

